

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	運送管理学 2 (航海)	
科目基礎情報							
科目番号	4A19			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	基本 運用術 : 本田 啓之輔 著 (海文堂)						
担当教員	寶珠山 輝生						
到達目標							
船の安定・不安定等についての基礎的な知識を理解した上で、基礎的な船舶計算法を習得する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
基礎的な貨物の積載に関する船舶計算法を理解し、演習問題を解答できる。		授業中に理解し、演習問題が解答できる。		復習の繰り返しで、演習問題が解答できる。		演習問題が解答できない。	
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 E1							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点		板書を中心に授業を行う。適宜プリント・補助教材を利用する。養成施設引当科目：航海コース[貨物の取扱 (1.0)]					
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		科目の目的・主要内容を理解できる。		
		2週	基礎的な船舶計算法		基礎的な船舶計算法について理解を深め、計算ができる。またその理由や船に対する必要性について理解できる。		
		3週	基礎的な船舶計算法				
		4週	基礎的な船舶計算法				
		5週	基礎的な船舶計算法				
		6週	基礎的な船舶計算法				
		7週	応用的な船舶計算法		基礎的な船舶計算法から発展した応用問題等の計算問題に対応できる。		
		8週	応用的な船舶計算法				
	2ndQ	9週	応用的な船舶計算法				
		10週	応用的な船舶計算法				
		11週	応用的な船舶計算法				
		12週	応用的な船舶計算法				
		13週	応用的な船舶計算法				
		14週	応用的な船舶計算法				
		15週	応用的な船舶計算法				
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	10	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	10	0	0	10